

恵生会黒須病院内において、2024年度 1 年間で安全管理室に報告されたインシデント・アクシデントの件数は以下の通りです。

インシデント・アクシデントと報告書のレベル分類

	レベル	影 響 度
インシ デント	0	間違いが起きそうになったが、事前に気づいた（ヒヤリ・ハット）
	1	間違ったことが実施されたが、患者様に影響や変化はなかった
	2	間違いが発生し、看護師による観察や処置が生じた
アクシ デント	3 A	事故により、医師の一時的な治療・処置が必要となった
	3 B	事故により、医師の継続的な治療・処置が必要となったり入院期間が延長した
	4	事故により障害が長期にわたり残る、又はその可能性が高く治療の継続が必要
	5	事故が死因となった、又はその可能性が高い

報告対象期間：2024年 4 月～2025年3月

1. レベル別報告件数

	総数	0	1・2	3以上
件数	5,033	3,428	1,572	33

2. 種類別報告件数

種類	総数	0	1・2	3以上	種類	総数	0	1・2	3以上
転倒・転落	1,119	942	172	5	接遇・応対	62	34	28	0
針刺し事故	9	4	4	1	院内感染	43	28	3	12
検査関連	394	252	142	0	書類関連	163	66	97	0
輸血関連	12	3	9	0	廃棄物関連	27	24	3	0
機器操作関連	324	277	47	0	検温・処置漏れ	194	114	80	0
薬剤関連	909	588	318	3	会計・保険関連	73	35	38	0
食事関連	124	49	75	0	暴言・暴力	19	15	4	0
誤嚥・誤飲	39	15	22	2	その他	357	319	38	0
離棟・離院	44	36	8	0	合計	5,033	3,428	1,572	33
外傷・熱傷	153	75	74	4					
紛失・破損	165	71	93	1					
ライントラブル	776	477	294	5					
手術関連	27	4	23	0					

3. レベル3以上の事例の内訳

- ・転倒による外傷 : 4件
- ・転倒による骨折 : 1件
- ・職員の針刺し : 1件
- ・USB紛失 : 1件
- ・外傷（骨折含む） : 3件
- ・誤嚥 : 2件
- ・院内感染 : 12件

新型コロナウイルス7件
インフルエンザウイルス4件
疥癬1件

- ・チューブ・ライントラブル : 5件（自己抜去含む）
- ・患者誤認による誤薬 : 3件

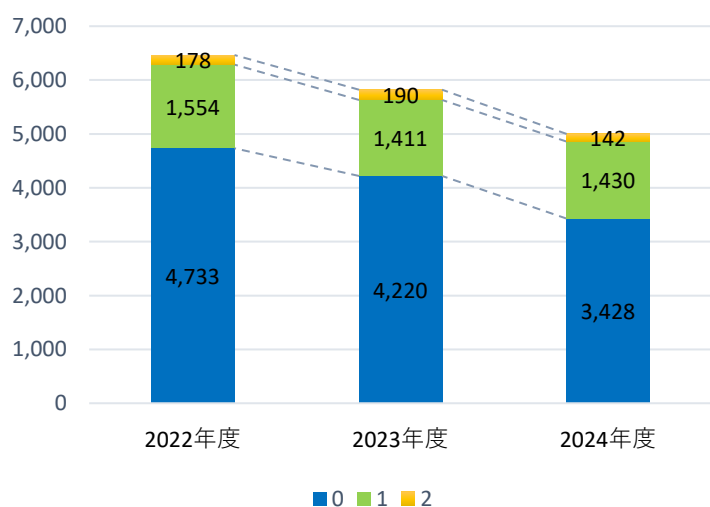
※1件の事例に対し、複数の部署から報告書が提出された場合、事例件数ではなく、報告件数でカウントしています。

4. 院内における医療安全への取り組みと成果

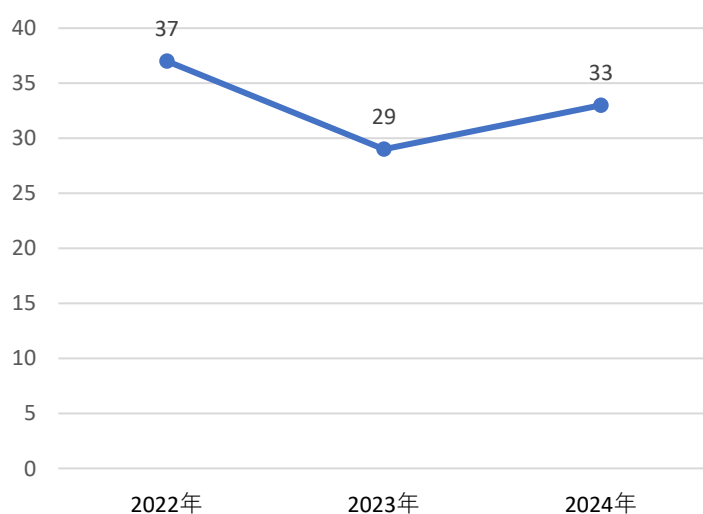
- 1) 当院では、レベル0（いわゆるヒヤリハット）の報告に力を入れており、報告された事例を活用し早期に事前防止策を講じる取り組みに努めています。

下グラフ1、2のレベル別報告数推移では、昨年度よりレベル2の報告件数は48件減少しました。一方、レベル3以上の報告件数は33件で昨年度より4件増加という結果でした。根本原因を解決できるよう多職種で分析を行い、病院全体で再発防止に努めていきます。今後も患者様が安心して入院生活が送れるよう、医療安全に力を入れてまいります。

不適合サービス報告数推移 グラフ1
レベル0～2の報告件数推移



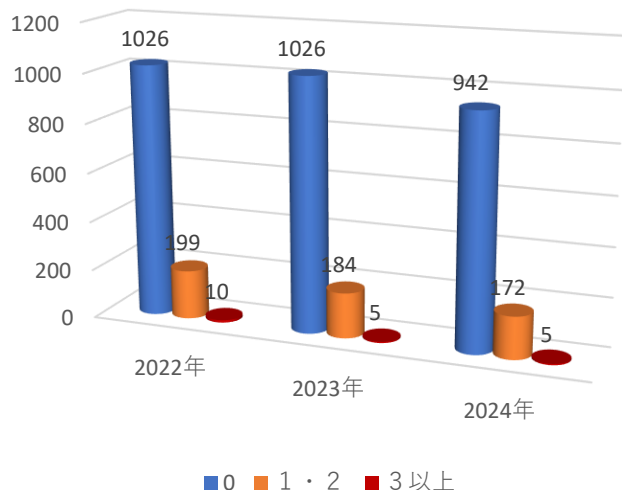
不適合サービス報告件数の推移 グラフ2
レベル3以上の報告件数推移



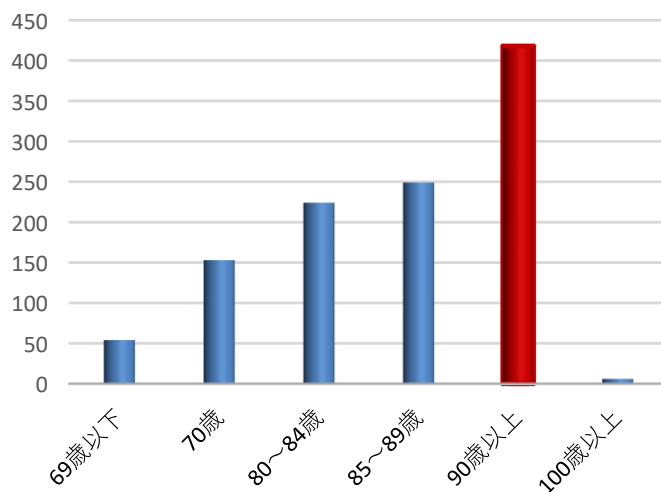
2) 転倒・転落・ずり落ち防止への取り組み

2022年4月に導入された電動低床ベッドにより、患者様の状態に合わせた安全なベッドの高さに調整し転落・ずり落ちを予防しています。年齢別にみると90歳以上の報告が多いため、患者様への影響を最小限にする取り組みに努め、骨折事例を1件に抑えることができました。

転倒・転落・ずり落ち報告件数推移

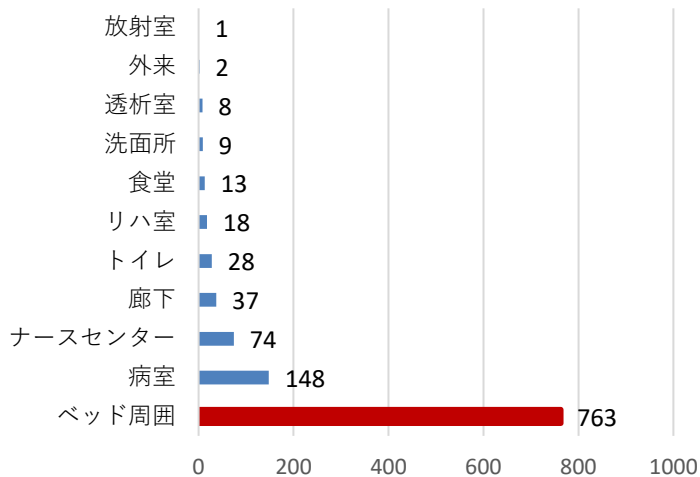


2024年度「年齢別」件数



「転倒・転落・ずり落ち」が発生しやすい場所はベッド周囲で、約7割近くを占めており、「動機別」では、排泄が約5割を占めています。転倒・転落アセスメントツールでリスクを評価し、多職種で療養環境を整えながら転倒予防活動に取り組んでまいります。

2024年度「報告・発生場所」



2024年度「動機別」の推移 (レベル1以上)

